

令和7年度 土肥こども園教育活動への評価（園関係者評価）

園目標 「げんきて なかよく たくましく」

重点目標 「思いやりのある子」

令和8年3月



土肥こども園 マスコットキャラクター「しろびー」

6月に園評価委員会を行い、その後園だより等を配布して、2月中旬に最後の委員会を行いました。

保護者の評価と職員の自己評価をまとめ提示し、評価者の皆様から、園運営全般、子どもの活動の様子、保育者の指導方法等への貴重なご意見とともに総括的評価をしていただきました。来年度の教育課程編成に活かしていきたいと思えます。評価結果は右表のとおりです。

今年度は研修テーマである『共感力』=思いやりの心を意識し、話し合いの場を大切に、遊びの環境を工夫してきました。異年齢児との関わりを取り入れることでいろいろな気持ちを知ったり、自分たちで活動を進める中で達成感や満足感を味わったりすることができました。

また、土肥の豊かな自然（白びわ、収穫体験、土肥桜など）や地域の方々と触れ合うことで、故郷のよさを認識するきっかけになったと思えます。

今後も地域の皆様に温かく見守っていただきながら、園児の育ちを支えていきたいと思っています。

A 達成している	B 概ね達成している
C あまり達成していない	D 達成していない

領域	評価項目	評価
重点目標 「思いやりのある子」	1 ・友達のよさを認め合い、友達と関わりながら遊びを楽しめるようにしているか。	A
	2 ・相手にも思いがあることに気付けるような環境をつくっているか。	A
	3 ・伸び伸びと自分のやりたいことに向かって取り組むことができたか。	A
こども園における教育・保育	4 発達の連続性を考慮した教育及び保育 ・個々の発達や経験の差を把握・理解し、適切な援助を繰り返し行っているか。	A
	5 多様性への配慮 ・個々の生活リズムの違いを踏まえ、安心して穏やかな気持ちで過ごせるようにしているか。	A
	6 環境を通して行う教育及び保育 ・友達や保育教諭等と一緒に繰り返し活動する中で、遊びが広がるような環境を構成しているか。	A
安全管理・指導	7 事故防止と防災 ・緊急時の対応を身に付けるような経験をさせているか。	A
保健管理・指導	8 健康教育の充実 ・日常の健康観察や疾病予防、アレルギー対策のための取り組みが行われているか。	A
特別支援	9 支援体制づくりの推進 ・個々の状況に応じた支援方法を職員間で共有し、家庭と連携を取りながら、指導にあたっているか。	A
組織運営	10 教育・保育の改善 ・全職員が組織の一員として運営に参画することを意識し、改善に向けて取り組んでいるか。	B
研修体制	11 研修の充実 ・伊豆市の目標や園の研修テーマに向けて共通理解をもち、成果と課題を明らかにしながら取り組んでいるか。	B
教育・保育環境の整備	12 安全な環境づくり ・定期的に安全点検を実施し、施設の不備を改善しているか。	A
家庭との連携・協力	13 家庭との連携・協力 ・子どもの遊ぶ姿や成長を情報発信し、保護者と子どもの育ちを支える関係づくりをしているか。	A
学校との連携・協力	14 近隣学校との連携・推進 ・土肥小中一貫校や土肥分校との連携が円滑に行われているか。	A
地域との連携・協力	15 地域との連携・信頼される園づくり ・地域機関や自然を指導計画の中に位置付け、活用しているか。 (地域の特徴を活かした保育の展開) ・子育て支援等を実施し、開かれた園づくりをしているか。	A

「園関係者評価者様からのご意見等」

- 丁寧に保育をしている。『架け橋プログラム』について、保育の中でやっていることが一貫校とも重なる点が多い。研修や交流を通し、さらに関わりを深めたい。
- 子どもが少ないため、子どもの声が聞こえると地域も活気付く。積極的に地域に出てほしい。
- 葛藤体験が少ないのは、子どもが少ないから仕方がないのかもしれない。しかし、職員が意識して保育をしているので安心した。
- いろいろな経験をする中で、できるようになったことが増え、成長を感じている。今後もいろいろな経験をさせてほしい。
- 職員の言葉づかいを聞き、真似をする姿があった。どのような場面でも言葉づかいを意識してほしい。

「来年度に向けて（今後の改善方針）」

- ・『自分で考える力』『葛藤体験＝相手の気持ちを知り受け入れ、気持ちを合わせる心地よさを知る』など、いろいろな経験から育ちや学びにつながるような保育活動を進めていきます。
- ・今後はさらに園児数が減少し、複式クラスも考えられます。指導案作成や保育活動・行事の進め方など、情報を収集しながら取り組んでいきます。
- ・職場の雰囲気によさは、よい保育にもつながると考えています。業務内容を見直すとともに、子どもや保護者に寄り添った保育をし、働きやすい職場環境づくりを目指します。
- ・職員は子どものモデルとして、「子どもを尊重することや「子どもの人権擁護」について意識を高め、保育の質の向上を目指します。
- ・今後も土肥の自然や地域とのつながりを活かしながら、子どもと保護者と職員の笑顔あふれる土肥こども園を目指して、取り組んでいきます。

～ご意見・苦情等について～

保護者への配布物について、ご意見をいただきました。今後は個人情報に配慮した文書作成をしていきます。皆様からのご意見を大切に受け止め、よりよい園づくりをしていきます。